

南区大楠校区自治協議会

大楠校区健康フェア

～あなたは効果的な健康づくりをしていますか～

健康は自分でつくり、守るもの。一人ひとりが取り組んでいくべきものですが、自分だけで始めても継続していくことは非常に難しいのではないのでしょうか。

大楠校区では、効果的な健康づくりを推進するためには、地域ぐるみの取り組みが最も大切であるとして、平成19年度から校区内の各種団体と衛生連合会が協力し、校区を挙げて「大楠校区健康フェア」を開催しています。

フェアのプログラムは、まず自分自身の健康状態を知ることから始まります。身長や体重、血圧などの基本的な健康チェックのほか、ちようざたい ぜんくつ長座体前屈や反復横跳びなどの体力測定を行います。大切なのは、その結果をこれからの健康づくりに生かすこと。フェアでは、今後どのように取り組めばよいのかを理解、納得していただくために、健康運動指導士を講師として招き、参加者一人ひとりにアドバイスをしてもらっています。

また、校区内の内科医師による糖尿病予防のための血糖測定とアドバイスや歯科医師による歯の健康相談コーナーをはじめ、薬剤師による薬の服用相談コーナー、靴メーカーによる足型測定と靴選びの相談コーナー、製菓メーカーによる水分補給のアドバイスなどメニューも盛りだくさん。食育推進コーナーでは、家庭で日頃食べているみそ汁などの塩分濃度の測定をするなど、身近なところからの健康づくりを提案しています。

参加した住民からは、「息子が去年参加して体力自慢され、負けられないと思い参加した」「体力測定でいい成績をもらえると嬉しい」などの声も聞かれました。

健全な地域の活動や活力は、住民相互の協力があってこそ生まれるもの。これからも、住民同士が手と手をつなぎ、心と心を通わせ、みんなが助け合うことができる温かな“結いのまち大楠”の精神で、健康なまちづくりを進めていきます。



福浜校区ペーロン大会 ～波をかきわけ暑さなんかふっとばせ!～

福浜校区自治協議会は、8月1日に地域の夏の風物詩である「ペーロンボートINふくはま」を開催しました。本大会史上最多となる26チームが参加し、小・中学生の部と大人の部でそれぞれ熱戦が繰り広げられました。

この競技は、福浜海岸沖合約100メートルのところに周回ブイを2カ所設置し10名のこぎ手によりボートを走らせ、そのタイムを競うもの。当日は、



若干波風が強かったこともあり、5分の制限時間を過ぎてタイムオーバーになるチー

ムが続出。それでもみんな元気いっぱいオールを漕いでいました。

競争成績は、小学生の部は市営住宅13棟と14棟と西公園下住宅の連合子ども会チーム、中学生の部は当仁中野球部Bチーム、大人の部は当仁中PTAチームがそれぞれ優勝し表彰を受けて熱戦の幕を閉じました。

選手も応援も一体となって盛り上がったこの大会。地域住民の絆を深めた貴重な夏の一日となったに違いありません。



鳥飼ふれあい夏まつり ～子どもみこし ワッショイ!!～

鳥飼校区では、毎年実施される「鳥飼ふれあい夏まつり」において、手作り子どもみこしのパレードを行っています。

1～6年生までの希望者を募り、今年は60名が参加しました。7月から1年生、2年生、3年生、4～6年生の4グループに分かれて、それぞれがテーマを決めてみこし作



りを決めました。

8月7日の夏まつり当日は、とても暑い日になりましたが、沿道からの水かけや声援の中、それぞれのコースを練り歩き、まつり会場の鳥飼小学校

に戻り会場を一周した後、やぐらの周りに飾り、みんなで大成功を喜びました。

まつり当日にみこしを担ぐだけでなく、テーマやデザイン決

めから制作までのすべてを自分たちで行ったことは、子どもたちにとって、この夏の貴重な思い出となり、また、地域の大人たちも参加した子どもたちをたのもしく感じたことでしょう。

子どもたちが地域の行事に、積極的に主体性を持って参加することは地域の活性化につながる大事なこと。今後ますます参加者が増えて、さらに元気な鳥飼校区になることを期待しています。



地域ぐるみで子育てを「野芥っ子育てネット」 ～海釣り公園で釣りにチャレンジ～

青少年育成連合会を中心に、自治協議会、公民館、地域協力者で「野芥っ子育てネット実行委員会」がスタートして4年目。今年度、最初の行事は8月1日。子ども18人、保護者と実行委員18人で“海釣り公園で釣りにチャレンジ”です。朝7時、すでに暑い日差しの中、海釣り公園での諸注意を行った後、大漁を期待してバスで出発！到着後、子どもたちはライフジャケットを着用し“いざフィッシング！”。大きなクーラーとみんなで分けるための大きなビニール袋を準備して行ったのに、残念ながら期待外れ。それ



でも子どもたちは、10センチ弱のアジでも大喜び。隣の子の釣り糸が絡んだり、釣り針同士が絡んだ

り、その度にお助けマン(大人)は大忙し。

2時間の挑戦は終わり、クーラーも袋も恥をかいたけれど、参加者から「楽しかった」との感想を聞いた実行委員には安堵の表情が。後日、参加者の親に感想を聞くと、「みんなで食べたアジの唐揚げがおいしかった」「おじいちゃんと釣りの約束をしていた」とうれしい言葉もありました。



地域の子どもと大人が顔見知りになる機会をたくさん作りたくとスタートした育みネットですが、保護者と接する機会も同じように作っていくため、他の行事(秋祭り・ウォークラリー・凧揚げ大会等)にも呼び掛け、地域ぐるみのネットワークを広げたいと思います。

「福岡市住民自治フォーラム」を開催しました

平成22年8月31日、ももちパレス(福岡県立ももち文化センター)を会場に福岡市・福岡市自治協議会等7区会長の共催で「福岡市住民自治フォーラム」を開催しました。

本フォーラムはコミュニティの活性化や住民自治のあり方を考える機会とするために企画されたもので、会場には自治協議会関係者など600名近くの参加者がありました。



開会式の後、地域での自治活動に貢献された方々(全市で58名)に市長から感謝状が贈呈されました。

フォーラムでは「コミュニティを支える人の開拓・育成」をテーマに、

帝塚山大学院法政策研究科の中川幾郎教授が「地域活動を支える人材育成～お互いの顔がわかるまちづくりのススメ～」と題して基調講演を行いました。

後半は、中川教授に加え、自治協議会関係者・行政関係者を交えたパネルディ

スカッションが行なわれ、実際の活動事例も交えながら、人材の開拓・育成について活発な意見が交換されました。

参加者からは「機会をつかまえて人と人のつながりをつっていく事が大切だ」「他校区の取り組み事例をもっと聞きたい」などの声も聞かれました。またアンケートでは「町内会加入者が減少している」「新旧住民の交流や連携が図れない」など深刻なご意見もあり、今後も課題解決のヒントとなるようなフォーラムを開催していきます。



お問い合わせ・地域の情報などはこちらまで

- 東区役所地域支援課
TEL 645-1041 FAX 645-1042
- 博多区役所地域支援課
TEL 419-1048 FAX 452-6735

- 中央区役所地域振興・支援課
TEL 718-1060 FAX 714-2141
- 南区役所地域支援課
TEL 559-5072 FAX 561-5360

- 城南区役所地域支援課
TEL 833-4061 FAX 822-2142
- 早良区役所地域支援課
TEL 833-4416 FAX 851-2680
- 西区役所地域支援課
TEL 895-7036 FAX 882-2137

東区香椎東校区

香椎東校区自治協議会

石川 孝治会長

(東区自治組織会長会事務局長)



- ①当校区は、昭和53年に香椎校区から分離した校区で、現在、世帯数約5,600世帯、人口約14,000人です。校区の中心には国の重要文化財に指定されている香椎宮があり、香椎宮を中心に史跡が多く点在する「歴史のまち」であるとともに、緑豊かな住宅地でもあります。
- ②自治協議会は、組織団体が一体となって「活力ある歴史のまち香椎東」を合言葉に、明るく住みよいまちづくりを目指して、様々な課題に取り組んでいます。特に、校区人尊協では、「あいさつで人権尊重のまちづくり」を掲げて、あいさつ運動に力を入れるとともに、毎月発行する自治協ニュースで、人権標語を掲載し、住民に人権尊重の啓発も行っています。また、防犯の面では、青バト並びに自警団によるパトロールも実施しています。
- ③今後は、「歴史のまち」をもっと広くアピールしていくとともに、将来、子どもたちがみんなに誇れるまちにしていきたいと考えています。

東区香椎浜校区

香椎浜校区自治協議会

宮崎 憲市会長

(東区自治組織会長会副会長)



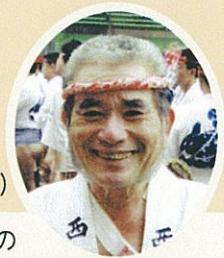
- ①当校区は、昭和58年博多湾岸東部の埋め立てによって誕生した比較的新しい校区です。校区の東側には都市高速道路の香椎浜ランプがあり、天神まで20分程度という至近の立地にあります。近年、パークポートや人工島(アイランドシティ)の開発が進み、校区に隣接して、アビスパなどスポーツ施設が整備されています。校区では、マンションが増え、急速に人口が増加しました。9月恒例の東区花火大会は香椎浜の空を焦がします。
- ②校区の100%が高層の集合住宅です。意思の疎通や絆づくりを図るため、校区の統一テーマとして挨拶運動を掲げ、このかた10年つづけています。道なかばですが手ごたえを実感しているところです。
- ③子どもたちが誇りに思ってくれるような故郷づくりをしていきたい。そのためには、みんなの力が必要です。町づくりの原点は、人づくり、人の輪づくりにある、と思っています。そんな土壌づくりを目指します。

博多区博多校区

博多校区冷泉自治協議会

森下 章一会長

(博多区自治協議会長連絡協議会副会長)



- ①「博多の総鎮守」櫛田神社があり、国の重要無形民俗文化財「博多祇園山笠」や「博多松囃子」に代表される博多の伝統文化が息づく町です。西日本最大の歓楽街中洲、老舗商店等が集まる川端商店街も地域内です。近代的な建物も多く、伝統と近代が融合した地域で、都心でも地域の横のつながりが強く、住民の連帯感のあるまちです。
- ②松囃子は831年、山笠は769年も続く伝統行事であり、こうした歴史ある伝統文化を守るため、子どもたちの世代への継承に努めています。来年3月には、九州新幹線が全線開通し、訪れる人も増えます。観光にも力を入れ、遠来の観光客が「来て良かった」と思いうまにしたいと考えています。また、安心・安全のまちづくりにも力を入れています。
- ③中心部にある旧冷泉小学校跡地の活用が住民の最大の関心事です。地域の人と相談しながら、ワークショップなどで活用策を考えていきます。冷泉公園や中洲の清流公園をまちづくりにどう生かすか、住民の防犯・防災意識をいかにしたら向上させられるかも課題であり、今後取り組みを進めます。

西区玄洋校区

西区自治協議会会長会

玄洋校区自治連合会

篠崎 弘光会長



- ①西区の西部に位置する西部六校区の一つで、平成元年に今宿校区より分離した若い校区です。JR筑肥線今宿駅の北西に位置し、面積は約1.4km²、人口約9,300人。地元の方と新しく転入された方の入り交じった町ですが、伊都区画整理の進捗により人口が増加中です。
- ②校区では「安全、安心」はもちろん、「暖かい温もりのある」「思いやりの心がある」そして「環境にやさしい」町を目標に活動中です。7、8月は各町内において夏祭りを実施、その後は敬老会、校区体育祭、年末の町内でのお餅つき、自主防災訓練等を行っています。何より毎年8月は玄洋、今宿両校区の自治協議会、社会福祉協議会、公民館、今宿商工会との共催で納涼花火大会を開き今回で28回を数えるまでに至った事を大変誇りに思っています。地域の方はもちろん1万人以上の市民の方が毎年楽しみにしていただいているようです。
- ③当地区は九州大学の移転、伊都区画整理の進展に伴い急激に変化しておりますが、校区の目標を大事にして地域の皆さんが健康で明るく生活できるよう努力を続ける所存です。